

平成30年度第1回白井市情報提供計画策定委員会議事録

- 1 開催日時 平成30年11月13日（火） 午後13時10分から15時00分
- 2 開催場所 市役所本庁舎2階 防災対策会議室3
- 3 出席者 高橋会長、原田副会長、長野委員、市川委員、手塚委員
- 4 欠席者 小野寺委員
- 5 事務局 笠井総務部長、石田情報管理課長、新山主査、宇藤主査補、苛原主事
- 6 傍聴者 4名
- 7 議題

- (1) 白井市情報提供計画の概要について
- (2) これまでの市の情報提供の取り組みについて
- (3) 情報提供計画策定の進め方について

8 会議概要

- ・白井市情報提供計画の概要及び、現在の市の情報提供について資料を基に事務局より説明を行い、委員より意見を募った。
- ・第2回会議開で今後実施する市民アンケートの設問を作成することとなり、次回会議までに設問作成に必要な資料を事務局から提供することとなった。

【課題について】

- ・市で行っている情報提供手段は多くあるが、周知が足りておらず、必要な情報をどう入手すれば良いかわからない状態になっている。
- ・各情報提供手段についての効果検証を行い、効果の無い手段については廃止を検討すべき。
- ・情報提供計画は今後のまちづくり推進の柱となっており、テクニックの話に留まらず大きなテーマとして取り扱う。
- ・テーマを広げすぎると取り扱う問題も大きくなるため、どのレベルで計画策定を行うかも今後の課題とする。
- ・ホームページやメールの活用以外にも、図書館や市の情報公開コーナー等への掲示も徹底する事で、より多くの市民が市政へ参加しやすい環境をつくれるのではないか。
- ・SNS等の活用は必要だが、ただ立ち上げるだけではなく、その後どう利用者を増やすかといった努力が必要となる。
- ・緊急情報のように市が主体となって発信すべき情報や、各種生活情報のように市民が必要な時に探す事ができる情報等、情報の性質は様々であり、市がどういった情報を保有し、どのように発信を行ないたいと考えているのか第2回までに示して欲しい。
- ・平成31年度にパブリックコメントの実施が予定されているため、今後各会議で計画策定をどこまで進めるのか事務局が想定する進捗を示して欲しい。

【第2回会議までに事務局で準備する資料】

- ・市の基礎情報、年齢構成、現在・5年後・10年後の人口構成、市民が主にどこで働い

ているか、世帯主の年齢層、IT 機器の利用状況

- ・市で保有する情報（提出できる範囲で）と、その情報の性質等ランク付けの一覧
- ・資料については準備ができ次第事務局より各委員へ送付する。

議事内容については以下のとおり

1 開会（進行：事務局）

2 委嘱状交付式（進行：事務局）

各委員へ伊澤市長より委嘱状交付

3 市長あいさつ（進行：事務局）

伊澤市長よりあいさつ

（市長退席）

※各委員及び事務局の自己紹介。

※白井市付属機関条例第 6 条第 2 項の規定により、委員の出席数が過半数であるため、会議が成立することを報告。

4 会長・副会長の選出（進行：事務局）

白井市附属機関条例第 3 条第 1 項に基づき、委員の互選により、次のとおり選出

会 長 高橋 明子委員

副会長 原田 輝俊委員

会長・副会長よりあいさつ

※傍聴者受け付け

※配布資料の確認

①白井市情報提供計画策定委員会会議次第・議題資料

②委員名簿

※白井市情報公開条例第 9 条に基づき、会議は全て公開することについて了承を得る。

5 議題（進行：会長）

（1）白井市情報提供計画の概要について

（事務局より議題資料 1 に基づき説明）

会 長 議題 1 は計画概要の説明であったため、議題 2 終了後に各委員から意見を伺う事としてよいか。

委 員 （承認）

（2）これまでの市の情報提供の取り組みについて

（事務局より議題資料 2 に基づき説明）

会 長 議題 1、議題 2 について各委員の意見をいただきたい。

委 員 市の情報提供手段が多いことに驚いた。
市民として月 2 回の広報しろいと、市ホームページは見たことがあるが、その他の提供手段については今回初めて知った。
これだけ情報発信のツールがあっても市民が知らなければ意味が無い。
どのツールを使えば自身が知りたい情報を得られるのかがわからず、「情報を集めるための情報」が無い状態。
情報を得るためのナビゲーション的なものが欲しい。
それぞれの発信方法で成果の確認や評価を行った事はあるのか。
効果の無い情報発信を続けても意味がなく、発信手段毎に登録者数の増減等を見るなど、効果の検証を行うべき。
市民からの情報提供手段が「市長への手紙」のみということに驚いた。

事 務 局 効果の検証については、今後それぞれの担当課へ確認する。
メール配信サービスの登録者数等、具体的な数値が出せるものについては数値の確認を行う。
メール配信等については、イベント等で宣伝は行っているが、市民への周知が不十分であったかもしれない。
逆にあいあいメール等特定世代を対象を絞った情報提供については、その世代への周知が行なえていれば全市民へ周知できていなかったとしても問題は無いと考えている。

委 員 ターゲットを絞っている場合、対象へ確実に届いているかの検証は必要。
効果の無い情報提供手段を廃止する事で職員の負荷軽減にもつながる。

事 務 局 情報ツールの評価検証ができていない実態がある。
平成 26 年に実施した住民意識調査（対象者 2500 人、回答率約 40%）では市の情報をどこから入手しているかという質問に対し、メールやホームページという回答は少なかった。
今後はこういった調査も踏まえ、限られた資産の中でどう情報発信を行なうか取捨選択が必要となる。
効果の検証をいつ行い、いつ判断するかも検討課題。

委 員 生活情報や緊急時に市が行なう情報提供等、情報にも様々な種類がある。
まちづくりに対しての情報、市民参加というところまで広げるとこの少人数の本委員会では決定してしまってもいいのか。
市民参加のイメージを描き、高い理念に踏み込んだ話とするか、それとも情

報発信のテクニカルな部分についての話をすればいいのか、現時点でぼやけているように感じる。

事務局 本計画はまちづくり推進の柱としているため、単にテクニカルな話ではなく、もっと大きな狙いがある。

委員 まちづくりとなると市民と行政の問題意識をどう合致させるか等大きなテーマから話す必要がある。
あくまで「情報提供計画」となっているあたりに、どこまで踏み込むのかの意図があるのではないかと。

事務局 個々の情報発信ではなく、大きな枠の中での情報発信と捉えてほしい。
今後行う市民アンケートで市民のニーズや、行政へ何を伝えたいのかを確認していく。

事務局 現在市で提供している情報提供のツールは殆どが一方通行のツール。
本計画のテーマの一つとして双方向があり、どうすれば市民から情報提供をしてもらえるか、情報提供をしようという意識を持ってもらえるかを大きな課題として取り上げたい。

委員 あまり間口を広げるとフェイクニュース等、提供された情報をどう取捨選択するかという話も出てくる。
どういったレベルで計画を策定するかも課題としたい。

委員 市から提供される情報を利用する立場で会議録の公開を希望する場所として、図書館、ホームページ、市の情報公開コーナーの3カ所を各部署へお願いしているが、どの部署も「やります」とは言うが徹底されていない状況であり、浸透させる必要がある。
ホームページで情報を探しても見つけにくく、市民目線で見やすく探しやすい環境をつくれば市民がより市制に参加しやすくなるのではないかと。
業務データの保管という部分で、PC上のデータを災害時に備えてどこかで保管しているのか。

事務局 住民情報等について、電算センターを経由し県内と県外の2カ所に保存しており、災害時にも業務が継続可能。

委員 たくさんのツールを利用しているなという印象。
SNS等については新しいサービスが開発され、ブームも変わるため対応が大変だとは思いますが、SNSを活用したプロモーションで成功を収めている例

もあり、積極的に活用することが望ましい。

一方で、ただ立ち上げただけで登録者が増えるものでもなく、立ち上げた後にどのように努力すればよいか考える必要がある。

市の事を知らなければ委員として提案ができないため、人口構成や職業分布、どこに働きに出ているか等の基礎データを提示してほしい。

住民意識調査では圧倒的に広報しろいでの情報収集が多いので、紙媒体も大切にしていく。

情報発信の仕方として「受け身、取りにいかないといけない情報」と「送られてくる情報」があると思うが、市で行っているメール配信はどちらか。

事務局 事前に登録を行った利用者へ情報の送信を行っている。

委員 同じ情報発信の中でも携帯に来るのか、パソコンにくるのかで性質が違う。テクニク的な話となるが、そのあたりも整理できればいいと思う。

会長 情報提供計画を作っている自治体が他に少ない、取組自体は良いと思う。さらに、その中で交流、双方向という部分にどこまで踏み込むのかな、というのが一つ感想としてある。

市で保有する情報の整理、市民からのデータをどう受け取るかについては市でしかわからない。また、市民からの情報提供についてどんな情報をどのような手段で提供すると事務局が想定しているのか、この辺りを委員会でどう検討していくのか疑問。

説明の中で何カ所か事務局が課題と感じていると言った部分があったが、次回以降課題として出していただければ議論ができる。

SNSについて、どう見てもらうのか、どう検証するか難しい面もあるがこの委員会で検討していければいいのかなと感じた。

市の文化財紹介の Youtube を見たが楽しい動画だった、市民のかたをどう巻き込むか、見てもらうか、とても大事なことだと感じた。

会長 これまでの議論を聴いて何かあれば意見を伺いたい。

委員 計画を立てるうえで、あまり大風呂敷をひろげるのではなく、一步一步対象者を絞り、優先順位を付けながら小さな計画を積み重ねていったほうが良いと感じた。

第1ステップ、第2ステップと段階を踏んで、2年で計画、その後実行ではなく、計画と実行を繰り返す等様々な進め方があるのでは。

委員 担当職員の負荷もあるので、計画があまり大きくなるのも中々ゴールにたどり着けなくなるのではないかな。

(3) 情報提供計画策定の進め方について

(事務局より議題資料3に基づき説明)

(議事録及び今後必要な資料等については第2回会議前に事務局より郵送または電子メールで各委員へ配布を行う)

会 長 議題3について各委員から意見があれば。

事務局 事務局からの提案として、第2回会議の開催日程と第2回会議までにどういった基礎データが必要か本会議でお示しいただきたい。

会 長 来年度にパブリックコメントの実施を行うとあり、その前にある程度計画を策定する必要がある。次回までに各会議でどこまで進めるかの進度を事務局から示してもらいたい。

事務局 第2回会議は2月1日から2月14日の開催を目安に調整を行うのでスケジュールの確認をお願いしたい。

議 員 基礎データとしては、市の年齢構成、どこで働いているのか、現在・5年後・10年後の人口構成等があると良い。

議 員 世帯主の年齢層。

会 長 ITの機器の利用状況。

議 員 緊急の情報、設置しておけば見てもらえる情報等で性質が違う。市で保有する情報の質、ランクを整理して示していただきたい。

会 長 市で保有する情報に何があるのか出せる範囲で示していただきたい。

委 員 今後行うアンケートは本計画に特化したものか。

事務局 本計画に特化したアンケートを予定している。

議 員 友人、知人からの口コミも興味がある。
インフォーマルの仲間をつくるために、出身地がわかれば仲間を作りやすくなり、口コミの情報を入手しやすくなる。

会 長 他に意見がなければ、これで本会議を終了とする。

閉会(15:00)